

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

（1）基本目標

人間尊重の精神を基盤とし、知・徳・体の調和のとれた、心身ともに健康で人間力豊かな児童の育成

（2）具体目標（具体的な児童像など）

仲よく

- ・よく考える子ども …… 規範意識を持ち、自ら考え、進んで学べる子ども
- ・思いやりのある子ども … 自他のよさに気づき、共に伸びようとする子ども

強く

- ・体力のある子ども …… 心身ともに健康で気力や活力に満ちた子ども

たくましく

- ・はたらく子ども …… 目標の実現に向けて粘り強く取り組める子ども

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「心身ともに健康で人間力豊かな児童の育成」

子どもたちが心身ともに健やかに育つことを目指し、学校・保護者・地域が協働し、生き生きとした活気あふれる学校づくりに努める。そのため、人間尊重の精神を基盤とし、家庭・地域の教育力の活用を図りながら、高い指導力を備えた教師による豊かな教育活動を展開し、子どもたちの人間力を豊かに育成する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）学習指導の充実

確かな学力を身に付け、実社会や実生活の中で活用できる力を育む教育を工夫・創造する。

（2）教師力の向上（局所的学校力）

教職員として使命感や誇りを持ち、自己研鑽に励み、一人一人の細やかな目配り、気配り、心配りによる具体的な実践力の向上に努める。

（3）組織力の向上（全体的学校力）

互いに学び合い、情報と状況を共有し、心を通わせる教師集団による参画と協働を展開する学校組織の強化、充実を図る。

（4）特別支援教育の充実

一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進する。

（5）心身ともに健やかな身体の育成

健康で安全に生活できる能力を身に付け、気力や体力を育む教育活動の充実を図る。

（6）豊かな心の育成

自己有用感を高めるとともに、思いやりの心をもち、自他の生命を尊重する豊かな心を育む。

（7）人間力の育成

社会的自立の基礎を培い、社会の変化に対応しながら力強く生きぬく実践力・行動力を育成する。

※人間力：社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力

（8）信頼される開かれた学校づくりの推進

子どもは地域の中で育むという視点を持ち、学校、家庭、地域との連携、協働を図りながら信頼される開かれた学校づくりを推進する。

（9）危機管理・環境整備の充実

子どもが安心して安全に過ごせる環境づくりに努めるとともに、落ち着いて生活できる潤いのある環境の整備を推進する。

[若松原地域学校園教育ビジョン]

「つなげよう学び 育てよう心と体 共にのびよう WGS 学校園」

小学校入学から中学校卒業・進路の実現までの9年間の学校教育を、「かかわる教職員の思いと責任を共有し連携をして、児童生徒のそれぞれの発達段階に応じた一貫性のある教育や指導をして」継続的に実践する。

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】 「居がい、やりがいのある学校」 － 子どもが生き生きと学習・活動する、明るく、楽しい、活気に満ちた学校 － 【学 習 指 導】 「学びがいを感じさせる授業を作る」 － 学級活動で協働する力とやさしい人間性を育む － 【児 童 生 徒 指 導】 ○「互いのよさを認め、豊かな人間関係を築くことのできる児童の育成」 － あいさつ運動、読書活動の推進を基盤として － 【健康（保健安全・食育）・体力】 「自らの健康・体力に関心を持ち、進んで体力の向上に励む児童の育成」 － 体育授業を柱とした運動習慣の形成・休み時間の外遊び推奨の取り組み －
--

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項 目	評価項目	主な具体的な取組	方 向 性	評 価
教 育 全 体 の 状 況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「私は、今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答90%以上	①○相手を思いやる気持ちを育てる取組の推進のため、中学生と一緒に年間を通してあいさつ運動をする。 ②いじめゼロ強調月間には、児童会の「いじめゼロ集会」を実施するとともに、兄弟学年での年間を通したなかよし畑活動や、縦割り班でのエンカウンターを活用した異学年交流などにより、相手を思いやる気持ちを育てる取組を推進する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】① 全体アンケート「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答90%以上 【数値指標】② 全体アンケート「教職員は協力し、児童のよいところを認め、教えるべきことを熱心に指導している」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上	①朝の学習の時間には、国語や算数を中心に、プリントやドリルを活用することで、基礎基本の定着に全校体制で取り組む。 ②児童理解を深めるため、年2回、6月と11月に教育相談週間を設定し、豊かな人間関係の醸成に努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「この学校の児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	①児童の実態をもとに、生活目標にきまりとマナーに関する目標を設定し、全職員が毅然とした態度で、できるまで徹底して指導し、習慣づけていく。 ②児童が帰りの会等を活用して自分の生活の様子をふり返りをし、きまりについて意識できるようにしたり、宮っ子心の教育表彰を生かして児童の良いところを認める機会を増やしたりする。	A	【達成状況】 【次年度の方針】

学校運営の状況	A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	①きめ細かな指導の充実のため、児童の実態や授業内容に合わせて T、T や習熟度別学習を実施する等、多くの学年・教科で指導形態の工夫を図る。 ②学力向上を図るため、学業指導の徹底と学級活動等での授業研究等を行い、指導の工夫改善に取り組む。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	①委員会等による「いじめゼロ集会」の実施や「親子いじめゼロ標語」の作成、「いじめゼロシール」などによりいじめ根絶への意識の高揚を図る。 ②5, 10, 1月に実施する「学校生活アンケート」や6, 11月に実施する教育相談並びに Q-U の結果等を活用し、児童の変化を見過ごさず、いじめの早期発見、早期解決に努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケート「学校の日課、授業、行事などの教育課程は、適切に実施されている」 ⇒保護者、地域住民の肯定的回答 80%以上	協調性や思いやり、勤労意欲などを養うため、農園活動、ボランティア活動、福祉活動、縦割班活動などの体験活動を積極的に推進する。 水曜日のロング昼休みの時間を利用して、学級活動の充実を図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	授業参観やオープンスクールを実施するとともに、「学校だより」「学校ホームページ」により情報を発信する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】① 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 【数値指標】② 全体アンケート「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①授業参観などの学校行事や P T A 活動など教育活動に積極的に参加できるよう、各種便りや連絡帳等を活用して情報を発信する。 ②地域協議会との連携を図り、地域教材や人材、学校支援ボランティアを活用した教育活動を計画的に実施する。 更に活動の内容を「ボランティアだより」として紹介し、活動への理解を深める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

教育活動の状況		A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、荷物や備品などが整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	①落ち着いた学校生活を送るために校内環境の在り方について、児童の視点から検討し、学校環境の整備・充実を図る。 ②児童が自主的に環境の美化活動に取り組む態度が育つよう、清掃や整理・整頓について学級活動などの時間に話し合ったり、模範的な活動を称賛したりして、環境美化に努める。また、靴箱や机、ロッカーの整理の仕方を具体的に示し、身近なところからきれいにしたり、物を大切にしたりしようとする態度を育てる。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
		B 1 教職員は学校の研究課題に関する研究に積極的に取り組んでいる。 【数値指標】 学校独自アンケート「学校は、教職員が互いに指導力向上に取り組み、指導の工夫・改善に努めている」 ⇒保護者、地域住民の肯定的回答 80%以上	①授業の中に様々な学び合いの場を意図的に設定し、個と集団の学びを深め合える学習の実践に努めるとともにその課題に関する研修に努める。 ②保護者や地域住民へ授業参観や学年だより、学校だより等で児童の学びの様子を知らせ、理解を得られるよう努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
		A 10 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「この学校の児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	①全学級ローテーションのあいさつ運動や、若松原地域学校園として小中で協力してのあいさつ運動を継続・充実する。また、あいさつ運動で使用したのぼりを廊下に置いて、あいさつに対する意識向上を図る。 ②あいさつ名人の認定をしたり、児童会の計画委員会を主体とした「あいさつ広め隊」の活動を活性化させたりする。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	生活	A 11 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、大人に対して適切な言葉づかいや返事をしている」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上	①国語科や会話科の学習を中心に、発達段階に応じた具体的な言葉の使い方を指導する。生活目標にも言葉遣いについての目標を取り上げ、正しい言葉遣いへの意識付けを図る。 ②学校生活において友達同士での言葉の使い方、敬称を付けた友達の呼び方、教師や大人に対する敬語の使い方ができるよう常時指導をするとともに、各家庭にも懇談会等を通して協力を呼びかける。	A	【達成状況】 【次年度の方針】
	健康・体力	A 12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート「この学校の児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	「すすくすカレンダー」の活用について家庭への周知を図るとともに、本校独自の「プチトレ」「家トレ」の奨励を継続して行う。また、若松原地域学校園で統一した検定表などを活用することで、児童の運動習慣がスムーズに中学校での取組に繋がるよう支援していく。そのためにジャンピングボード・一輪車・投てき板など、児童が進んで運動に利用できる器具の整備もしていく。	A	【達成状況】 【次年度の方針】
		A 13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケート「自分の子どもは、好き嫌いなく食事をしている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	「お弁当の日」や「校内給食週間」、若松原地域学校園統一の「食育ファイル」等で家庭との連携を推進する。食や健康の保持増進に関する授業を養護教諭や栄養教諭と協力して継続・実施していく。	A	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	学 習	A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「この学校の児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	学習活動で、主体的に問題解決に取り組み、協働して学び合う場を取り入れることで、児童の学ぶ姿勢が個と集団の成就感につながるようにしていく。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
		A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上	①基本的な学習のきまり」について、掲示物を活用して児童への意識付けを図るとともに、学期始めや長期休業終了時には、各教室に学習態度等に関する重点目標を掲示するなどして、児童と共通認識を持ち学習に向かう環境を整える。 ②個別の支援が必要な場合は、対応を検討するための話し合いを積極的に持ち、各担当者間で連携して指導に当たる。	A	【達成状況】 【次年度の方針】
		B2 望ましい人間関係のもと、互いに協力し合いながら生活している。 【数値指標】 学校独自アンケート「私は、学校でだれとでも協力して生活している」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	①縦割り班によるわくわくタイムでの遊びや清掃活動、また兄弟学年での農園活動などを通して、助け合いや思いやりの心を育てる。 ②縦割り班の班長を中心に児童が主体的に活動できる機会を増やしていくことで、他の人のために役に立っているという意識(自己有用感)を高めるとともに、互いの良さを見つけ、協調して活動しようという態度を育てる。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	本校の特色・課題等	B3 教職員は、家庭や地域と連携を図りながら、あいさつ運動に取り組んでいる。 【数値指標】 学校独自アンケート「教職員は、家庭や地域と連携を図りながら、あいさつ運動に取り組んでいる」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上	①交通指導員や登校・下校ボランティア・地域の見守り隊の方々等に感謝の気持ちを表したり、校舎内外でのあいさつの輪を広げたりする活動を継続する。 ②校内の掲示物や学校だより等であいさつに取り組む様子を地域や保護者に知らせるとともに、家庭でもあいさつをする機会を多く持つように啓発を図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
		B4 教職員は、児童の読書意欲を向上させるための取組を推進している。 【数値指標】 学校独自アンケート「私は、読書や調べる勉強などで一月に10冊以上本を読んでいる」 ⇒児童の肯定的回答90%以上	①始業時刻前に図書館を開館し、利用時間をより多く確保するとともに、朝の読書の時間を毎日位置付け、読書の推進に努める。 ②家庭でのファミリー読書を奨励し、家庭の理解と協力を呼び掛けながら、様々なジャンルの本に親しませ、読書指導の充実を図る。 ③〇若松原学校園で連携を図って読書意欲を向上させる。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
		B5 教職員は、児童の人間関係力向上を目指して、縦割り班活動を推進している。 【数値指標】① 学校独自アンケート「私は縦割り班活動で多くの友達と楽しく活動している」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	リーダーである6年生を中心に、各学年の役割や協力の仕方を学ぶ場として縦割り班活動を充実させる。活動の前に手をつないで輪になり、活動内容を共有する場を設けるなど、中学年や低学年の児童にも、コミュニケーション力や人間関係力の向上を目指せる場とする。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。